

科目名	基礎看護方法論Ⅱ（生活援助技術） (Fundamental Nursing Methods Ⅱ)			科目コード	204
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数（時間）	2単位（60時間）
科目区分	専門科目	履修時期	1年次後期	関連DP	看①②④
担当教員	徳永 なみじ、岡田 ルリ子、香川 里美、森 敬子、大野 祐子、野本 百合子				
授業概要	基礎看護方法論Ⅰをはじめとする既習の知識・技術を基盤とした生活援助技術を教授する。授業は、オムニバス形式とし、看護師としての実務経験を有する教員により行う。事前学習、グループ学習等を設定し、主体的な援助技術修得を目指す。演習は、3～4人1組とし、対象者役、看護者役、観察者役等を相互にとりながら進める。				
授業目標	生活援助技術が、根拠に基づき確実にできる力を養う。 1 援助技術を実施するための根拠となる知識について記述できる。 2 援助技術の実施方法について、安全・安楽・自立の観点から説明できる。 3 メンバーと協力しながら主体的に、学習課題および演習に取り組むことができる。 4 演習で実施した援助技術を振り返り、自己課題と改善策を演習後レポート内に記述できる。 5 援助技術を安全・安楽・自立に配慮した方法で実施できる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	観察・記録・報告技術	観察・記録・報告に関する基本的知識・技術	徳永なみじ
2～5	バイタルサイン	バイタルサイン測定に関する基本的知識 ＜演習＞バイタルサイン測定	徳永なみじ 担当者全員
6～11	排泄援助技術Ⅰ	排泄の意義と自然な排泄への援助方法 浣腸に関する基本的知識・技術 超音波診断の基本的知識 ＜演習＞床上排泄、浣腸 超音波診断装置による大腸の観察	岡田ルリ子 (未定) 担当者全員
12	まとめ①	要点整理（観察・記録・報告、バイタルサイン、排泄Ⅰ）	単元担当者
13～19	清潔・衣生活援助技術	身体の清潔と衣生活援助に関する基本的知識と方法 ＜演習＞洗髪、全身清拭・陰部洗浄・おむつ交換・寝衣交換	岡田ルリ子 担当者全員
20～24	活動・休息援助技術	活動・休息とは 睡眠、電法、リラクゼーション ＜演習＞電法、手浴・足浴、リラクゼーション	徳永なみじ 担当者全員
25～28	食事援助技術Ⅱ	栄養療法の種類と特徴 経管栄養法の基本的知識と技術 ＜演習＞経管栄養法（経鼻・胃瘻）	森敬子 岡田ルリ子 担当者全員
29～30	まとめ②	履修実技の指導	担当者全員
成績評価方法	筆記試験 60%、実技試験 30%、事前学習・演習後レポート 10%で評価する。		
教科書	阿曾洋子・氏家幸子・井上智子「基礎看護技術 第7版」(医学書院)		
参考図書等	深井喜代子「基礎看護技術Ⅰ」(メヂカルフレンド社) 深井喜代子「基礎看護技術Ⅱ」(メヂカルフレンド社)		
授業時間外の学習について	事前学習は講義および演習内容の予習、事後学習は演習内容の振り返りを主な内容となる。また、演習前にはグループでテキスト等の手順を参考に、予習練習をする。		
関連科目	＜基礎となる関連科目＞141・142 人体の構造・機能Ⅰ・Ⅱ、145 生命活動と代謝、152 感染と免疫、159 食と栄養、203 基礎看護方法論Ⅰ ＜発展的な関連科目＞204 基礎看護方法論Ⅲ、206 フィジカルアセスメント、208 基礎看護学実習Ⅰ		
備考	既習の知識や並行して学ぶ知識を活用して学習をすすめる。 テキストや参考書に加え、図書館の蔵書を活用する必要がある。 単元ごとに事前学習課題や演習後レポートの提出がある。		